

Patent Number: JP1106452U

Publication date: 1989-07-18

Inventor(s):

Applicant(s):

Requested Patent: JP1106452U

Application Number: JP19880002419U 19880111

Priority Number(s): JP19880002419U 19880111

IPC Classification: B65H3/68; B65H3/06; B65H3/52; B65H9/04; B65H9/16

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

Data supplied from the esp@cenet database - I2

公開実用平成 1-106452

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-106452

⑬ Int. Cl.⁴

B 65 H 3/68
3/06
3/52
9/04
9/16

識別記号

3 4 0
3 3 0

庁内整理番号

7407-3F
C-7407-3F
D-7407-3F
A-6943-3F
A-6943-3F

⑭ 公開 平成1年(1989)7月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 自動給紙機構

⑯ 実 願 昭63-2419

⑰ 出 願 昭63(1988)1月11日

⑱ 考 案 者 吉 川 徹 東京都港区西新橋3丁目20番4号 日本電気エンジニアリング株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気エンジニアリング株式会社 東京都港区西新橋3丁目20番4号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

考 案 の 名 称

自動給紙機構

実用新案登録請求の範囲

紙葉類を多数枚積載する積載部と、前記積載部に積載された紙葉類を順次給紙する為の1個のプッシャローラと、給紙される前記紙葉類の片側の一辺を案内する側端基準ガイドと、前記積載部上の前記紙葉類の上面を自重によって押える乗り上げ防止用ガイドとを含むことを特徴とする自動給紙機構。

考 案 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、OA機器で紙葉類を自動的に給紙するために用いられる自動給紙機構に関し、特にOCR（光学文字読取装置）における自動給紙機構に関する。

- 1 -



640

〔従来の技術〕

従来の自動給紙機を第3図、第4図を用いて説明する。従来の紙葉類の自動給紙機構は紙葉類を多数枚積載するホッパプレート4、紙葉類をホッパプレート4から1枚ずつ送り出すプッシャローラ1、ピッカローラ2を有する給紙部、紙葉類の重送を防止する為に給紙方向と逆に回転するリバースローラ5、給紙の基準となる先端基準ガイド3、右端基準ガイド6とから構成され、第3図において紙葉類9をA方向に給紙していた。なお、図において、7はプッシャローラ支持用アーム、8はプッシャローラ駆動用ベルトである。

〔考案が解決しようとする問題点〕

上述した従来の自動給紙機構では、プッシャローラ1の給紙力の不均一から第3図において示す給紙後の紙葉類10、11の様に斜行の状態が2通りの傾向を示す為に紙葉類の傾斜のバラツキ範囲が大きくなり、OCRとしての認識性能の低下をまねいていた。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案の自動給紙機構は、紙葉類を多数枚積載する積載部と、前記積載部に積載された紙葉類を順次給紙する為の1個のプッシュローラと、給紙される前記紙葉類の片側の一端を案内する側端基準ガイドと、前記積載部上の前記紙葉類の上面を自重によって押える乗り上げ防止用ガイドとを含んで構成される。

〔実施例〕

次に、本考案について図面を参照して説明する。

第1図は本考案の一実施例の平面図、第2図は第1図のB-B線における断面図である。ホッパプレート4に積載された紙葉類9はプッシュローラ1によってA方向へ給紙されるが、この際プッシュローラが1個のみであるので紙葉類9には常にモーメント12が矢印の方向に働いている。乗り上げ防止用ガイド13により紙葉類9は座屈や右端基準ガイド6に乗り上げる事が防止され、常に右端基準ガイド6に沿いながらA方向へ給紙される。

〔 考 案 の 効 果 〕

以上説明した様に本考案は、プッシャローラを1個のみとし、また乗り上げ防止用ガイドを具備することにより、給紙後の紙葉類の状態を一定の斜行状態にし、紙葉類の傾斜のバラツキ範囲も小さくして自動給紙を行うことができる。

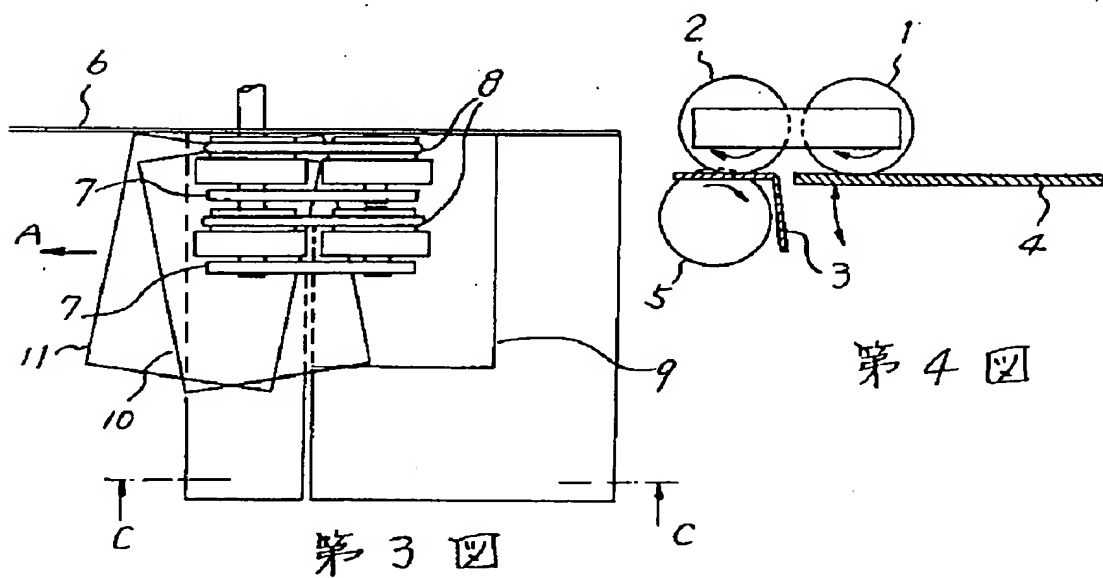
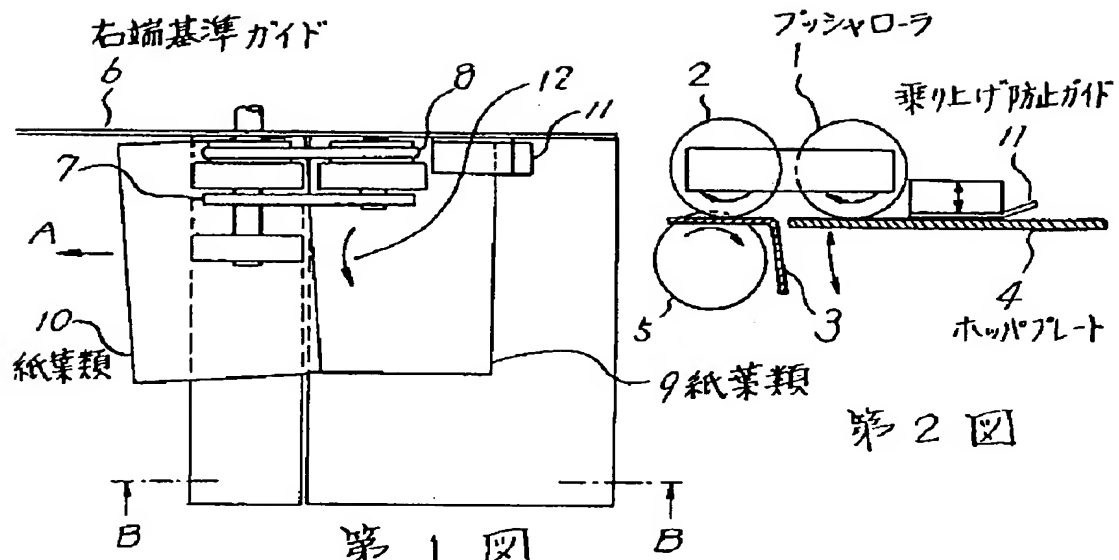
図面の簡単な説明

第1図および第2図はそれぞれ本考案の一実施例の平面図およびB—B断面図、第3図および第4図はそれぞれ従来の自動給紙機構の平面図およびC／C断面図である。

1…プッシャローラ、2…ビッカローラ、3…先端基準ガイド、4…ホッパプレート、5…リバースローラ、6…右端基準ガイド、7…プッシャローラ支持用アーム、8…プッシャローラ駆動用ベルト、9、10、11…紙葉類、13…乗り上げ防止用ガイド。

代理人 弁理士 内 原 晋





644

代理人 井理士 内原 晋
監製

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.